

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ（こども） Career Education Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	()	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
キャリア教育Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのか、その適性を考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えるようにする。 ⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の適性を考え、職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 (3)就職するための技能を身につけ、実行できる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション・学生時代に力を入れたこと(松崎)。 (クラス別指導30分) 【課題1】夏休みの宿題回収			
第2回目	ビジネスマナー(①医療事務②ビジネス・健康S・観光・英語③社会・介護④栄養⑤こども)。(クラス別指導30分) ※各会場担当者名は別記			
第3回目	業界研究；キャリア講演会①(幼稚園園長・児童養護施設施設長)(司会：1年担任)。(クラス別指導なし) 【課題2】講演会感想文			
第4回目	業界研究；キャリア講演会②(卒業生)(司会：1年担任) 【課題4】講演会感想(クラス別指導なし)			
第5回目	適性とは(秋山) 【課題3】(クラス別指導30分)。			
第6回目	他者を支える：認知症サポーター養成講座(和田・中島)。(クラス別指導なし)			

第7回目	専門職のために準備すること（1年担任）。マイナビ登録と活用。（クラス別指導40分）	
第8回目	教育実習オリエンテーション（司会：1年担任）、幼稚園実習巡回指導担当者別指導。 ※教育実習中のため別日に補講。	
第9回目	業界研究；キャリア講演会③（保育園園長・障害者施設施設長）（司会：1年担任）。【課題5】講演会感想（クラス別指導なし）	
第10回目	地域支援活動について（クラス別指導30分）	
第11回目	2年生の就職活動体験談（司会：1年担任）。（クラス別指導30分）【課題6】体験談感想	
第12回目	健康管理について（穂積）。（クラス別指導30分） 【課題7】健康管理の重要性について	
第13回目	面接試験の受け方（1年担任）。（クラス別指導30分）	
第14回目	保育実習オリエンテーション（司会：1年担任）、保育園実習巡回指導担当者別指導。 ※日程変更の可能性あり	
第15回目	キャリア・カウンセリング（小竹ヒ）。まとめ：今までの振り返りと今後に向けて（松崎）。（クラス別指導30分）	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、講話担当者や担任に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。課題5～7は、キャリア講演会の感想文とする。課題提出の〆切は全体指導あるいはクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ（栄養士） Career Education Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	()	栄養士フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
キャリア教育Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
(主) 松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。 なお、第14回授業では、他フィールドとの兼ね合いで作業の順序が変更される。詳しくは授業で説明する。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 (3)就職するための技能を身につけ、実行できる。 以上により主体的に就職活動をして進路を実現することができるようにする。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション・学生時代に力を入れたこと(松崎)。 (クラス別指導30分) 【課題1】夏休みの宿題回収			
第2回目	ビジネスマナー(※複数会場・複数教員での実施)。(クラス指導30分)			
第3回目	エントリーシート・履歴書の書き方(実務系キャリア教育委員)。2年生の就職活動体験談(司会:実務系キャリア教育委員)。 【課題2】履歴書の下書き。(クラス別指導なし。)			
第4回目	履歴書の書き方(2)・面接試験の受け方(実務系キャリア教育委員)。領域別2年生の就職活動体験談(領域・フィールド別指導30分)。 【課題2】履歴書の下書き(続き)。			
第5回目	適性とは(秋山)。 【課題3】自分の適性について(クラス別指導30分)。			
第6回目	他者を支える:認知症サポーター養成講座(和田・中島)。(クラス別指導なし)			

第7回目	マイナビ登録と活用法：WEB登録・説明会等のエントリーの仕方（学生支援委員・マイナビ職員）	
第8回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会①（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） 【課題4】講演会感想（クラス別指導なし）	
第9回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会②（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） 【課題5】講演会感想（クラス別指導なし）	
第10回目	業界研究；企業等の人事担当者講演会—キャリア講演会③（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） 【課題6】講演会感想（クラス別指導なし）	
第11回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会④。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） 【課題7】講演会感想（クラス別指導なし）	
第12回目	健康管理について（穂積）。（クラス別指導30分）	
第13回目	今後の就職活動に向けて（学生支援委員・クラス担任）。（クラス別指導30分）	
第14回目	マイナビSPIの受験：SPI受験（学生支援委員45分）・クラス別指導（45分）。※作業順序にフィールド別交替あり。	
第15回目	キャリア・カウンセリング（小竹ヒ）。まとめ：今までの振り返りと今後に向けて（松崎）。（クラス別指導30分）	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べて置くこと。また、講話担当者や担任に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。レポート課題2は履歴書の下書きとし2週に亘って課す。課題4～7は、キャリア講演会の感想文とする。課題提出の〆切は全体指導あるいはクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ（社会福祉士） Career Education II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	()	社会福祉士フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
キャリア教育Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
(主)松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのか、その適性を考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えるようにする。 ⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の適性を考え、職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 (3)就職するための技能を身につけ、実行できる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション・学生時代に力を入れたこと（松崎）【課題1】夏休みの宿題回収（クラス別指導30分）			
第2回目	ビジネスマナー（1年担任）（クラス別指導30分）			
第3回目	学生との面談①（1年担任）			
第4回目	学生との面談②（1年担任）			
第5回目	適性とは（秋山）【課題2】（クラス別指導30分）			
第6回目	他者を支える：認知症サポーター養成講座（和田・中島）（クラス別指導なし）			

第7回目	社会人に必要な知識について（大熊） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題3】	
第8回目	業界研究：キャリア・モデル学習ーキャリア講演会①（卒業生） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題4】講演会感想（クラス別指導なし）	
第9回目	業界研究：キャリア・モデル学習ーキャリア講演会②（施設長・人事担当者） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題5】講演会感想（クラス別指導なし）	
第10回目	社会福祉領域へのキャリアアップについて（大熊）	
第11回目	業界研究：キャリア・モデル学習ーキャリア講演会③（本学教員・中島・久保） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題6】講演会感想（クラス別指導なし）	
第12回目	健康管理について（穂積）（クラス別指導30分）	
第13回目	業界研究：キャリア・モデル学習ーキャリア講演会④（2年生の就職体験談） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題7】講演会感想（クラス別指導なし）	
第14回目	2年生の過ごし方～実習と就職活動の両立とスケジュールについて～（中島）	
第15回目	キャリア・カウンセリング（小竹ヒ） まとめ：今までの振り返りと今後に向けて（松崎） （クラス別指導30分）	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、講話担当者や担任に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点＝各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点＝未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
		『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。
履修上の留意点・ルール		
		●大熊（児童指導員・生活指導員、通算6年）、久保（介護福祉士、通算6年）、学外講師（福祉施設の業務に携わる実務者）積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。課題提出の〆切は全体指導あるいはクラス指導の場で示す。

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ（介護福祉士） Career Education Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	()	介護福祉士フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
キャリア教育Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
(主)松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのか、その適性を考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えるようにする。 ⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の適性を考え、職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 (3)就職するための技能を身につけ、実行できる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション・学生時代に力を入れたこと（松崎）【課題1】夏休みの宿題回収（クラス別指導30分）			
第2回目	ビジネスマナー（1年担任）（クラス別指導30分）			
第3回目	学生との面談（1年担任）			
第4回目	高齢者の生活背景を考える学習（個人ワークまたは発表会）（久保）			
第5回目	適性とは（秋山）【課題2】（クラス別指導30分）			
第6回目	他者を支える：認知症サポーター養成講座（和田・中島）（クラス別指導なし）			

第7回目	社会人に必要な知識について（大熊） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題3】	
第8回目	業界研究：キャリア・モデル学習ーキャリア講演会①（卒業生） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題4】講演会感想（クラス別指導なし）	
第9回目	業界研究：キャリア・モデル学習ーキャリア講演会②（施設長・人事担当者） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題5】講演会感想（クラス別指導なし）	
第10回目	国家試験に向けた対策・準備（学力評価試験）（久保）	
第11回目	業界研究：キャリア・モデル学習ーキャリア講演会③（本学教員・中島・久保） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題6】講演会感想（クラス別指導なし）	
第12回目	健康管理について（穂積）（クラス別指導30分）	
第13回目	業界研究：キャリア・モデル学習ーキャリア講演会④（2年生の就職体験談） ※社会福祉士・介護福祉士フィールド合同 【課題7】講演会感想（クラス別指導なし）	
第14回目	高齢者への楽しみの支援（グループワークまたは発表会）（久保）	
第15回目	キャリア・カウンセリング（小竹ヒ） まとめ：今までの振り返りと今後に向けて（松崎） （クラス別指導30分）	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、講話担当者や担任に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点＝各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点＝未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
●大熊（児童指導員・生活指導員、通算6年）、久保（介護福祉士、通算6年）、学外講師（福祉施設の業務に携わる実務者）積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。課題提出の〆切は全体指導あるいはクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ（実務系） Career Education Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	(特になし)	ビジネス・医療事務・観光・英語・健康スポーツ在籍学生対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 松崎勇人、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのか、その適性を考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えるようにする。 ⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。 なお、第14回授業では、実務・栄養士フィールドにおいてはフィールドごとに作業の順序が異なる。詳しくは授業で説明する。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の適性を考え、職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 (3)就職するための技能を身につけ、実行できる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション・学生時代に力を入れたこと(松崎) (クラス別指導30分) 【課題1】夏休みの宿題回収			
第2回目	ビジネスマナー(①医療事務②ビジネス・健康スポーツ・観光・英語③社会・介護④栄養⑤こども) (クラス別指導30分) ※各会場担当者名は別記			
第3回目	エントリーシート・履歴書の書き方(実務系キャリア教育委員) 2年生の就職活動体験談(司会:実務系キャリア教育委員) 【課題2】履歴書の下書き。(クラス別指導なし)			
第4回目	履歴書の書き方(2)・面接試験の受け方(実務系キャリア教育委員) 領域別2年生の就職活動体験談(領域・フィールド別指導30分) 【課題2】履歴書の下書き(続き)			
第5回目	適性とは(秋山) 【課題3】 (クラス別指導30分)			
第6回目	他者を支える:認知症サポーター養成講座(和田・中島) (クラス別指導なし)			

第7回目	マイナビ登録と活用法：WEB登録・説明会等のエントリーの仕方（学生支援課職員・マイナビ職員）	
第8回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会①（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課）【課題4】講演会感想（クラス別指導なし）	
第9回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会②（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課）【課題5】講演会感想（クラス別指導なし）	
第10回目	業界研究；企業等の人事担当者講演会—キャリア講演会③（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課）【課題6】講演会感想（クラス別指導なし）	
第11回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会④（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課）【課題7】講演会感想（クラス別指導なし）	
第12回目	健康管理について（穂積）。（クラス別指導30分）	
第13回目	今後の就職活動に向けて（学生支援委員・クラス担任）（クラス別指導40分）	
第14回目	マイナビSPIの受験：SPI受験（学生支援委員45分）・クラス別指導（45分）※作業順序にフィールド別交替あり	
第15回目	キャリア・カウンセリング（小竹ヒ）。まとめ：今までの振り返りと今後に向けて（松崎）（クラス別指導30分）	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、講話担当者や担任に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。実務系のレポート課題2は履歴書の下書きとし2週に亘って課す。課題5～7は、キャリア講演会の感想文とする。課題提出の〆切は全体指導あるいはクラス指導の場で示す。		